産学官連携の取組みと今後の期待

THE FLOWER OF JAPAN
KANSAI

2017年 2月 7日
公益社団法人　関西経済連合会

野島　学

関西経済連合会(関経連)の中期計画

2020年の関西の“ありたき姿”実現に向け、中期目標(2015～2017)を設定し、取り組みを推進

2020年　関西の“ありたき姿”

日本の双発エンジンとして日本をリードする

アジア有数の中核都市圏(ハブ)となる

地方創生のリーディング地域

2017年までの中期目標

【1】
東京一極集中是正と地方創生をリードする関西モデルの構築

【2】
世界トップレベルのイノベーション拠点への成長

【3】
アジアとの人・ビジネスの交流拡大・連携強化による活力ある地域への成長

ものづくりを中心とする関西の産業振興の方向性

成長市場の取り込み

- 健康・医療
- 環境・エネルギー
- ロボット
- 航空・宇宙

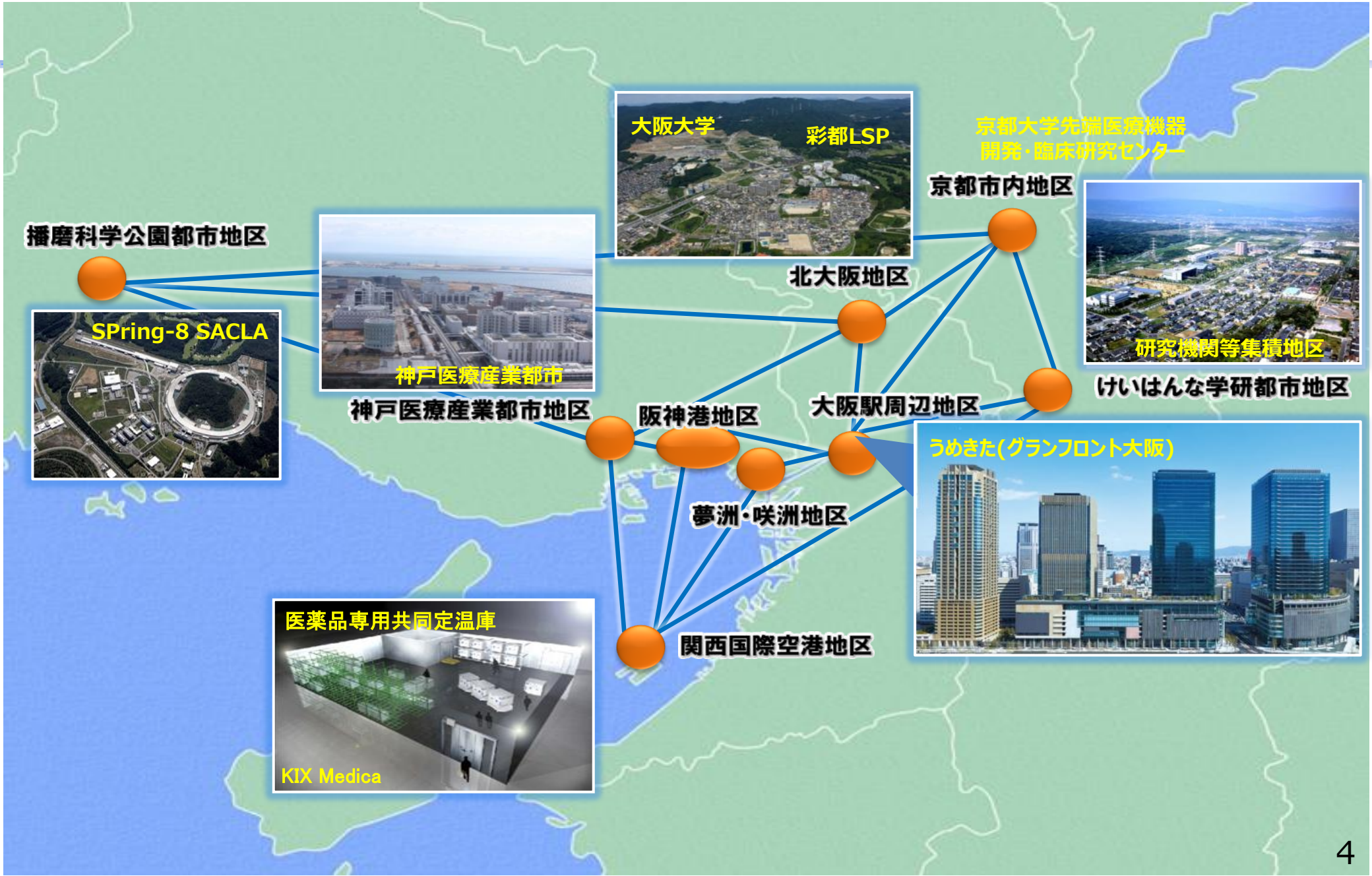
強みを活かし、成長産業を取込む

関西の強み

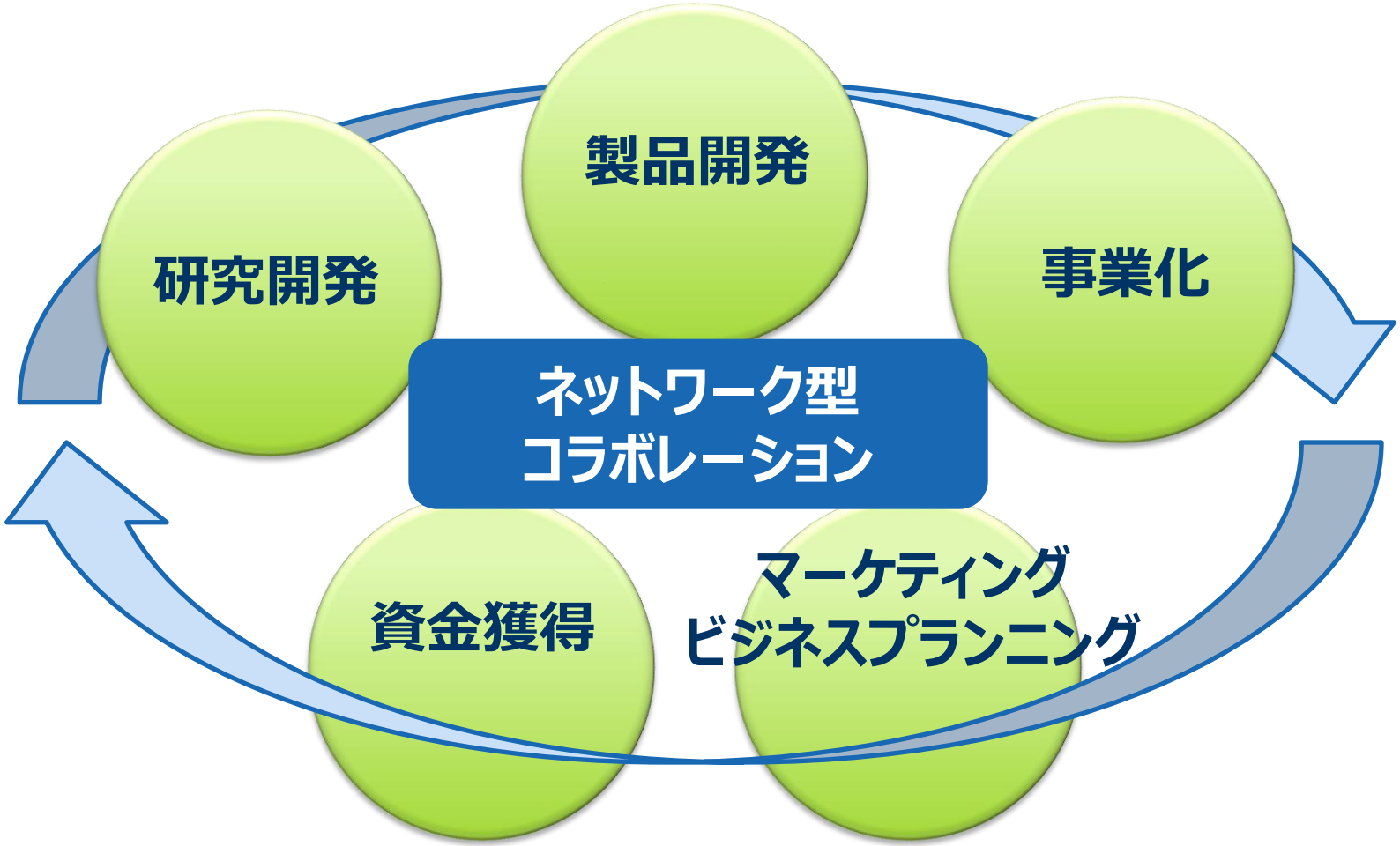
・素材、機械加工分野等に優れる中堅・中小企業の集積
（グローバルニッチトップ企業が数多く存在）

・うめきた、けいはんな学研都市、神戸医療産業都市、
彩都ライフサイエンスパークなどの研究・イノベーション拠点の存在

関西の研究開発拠点

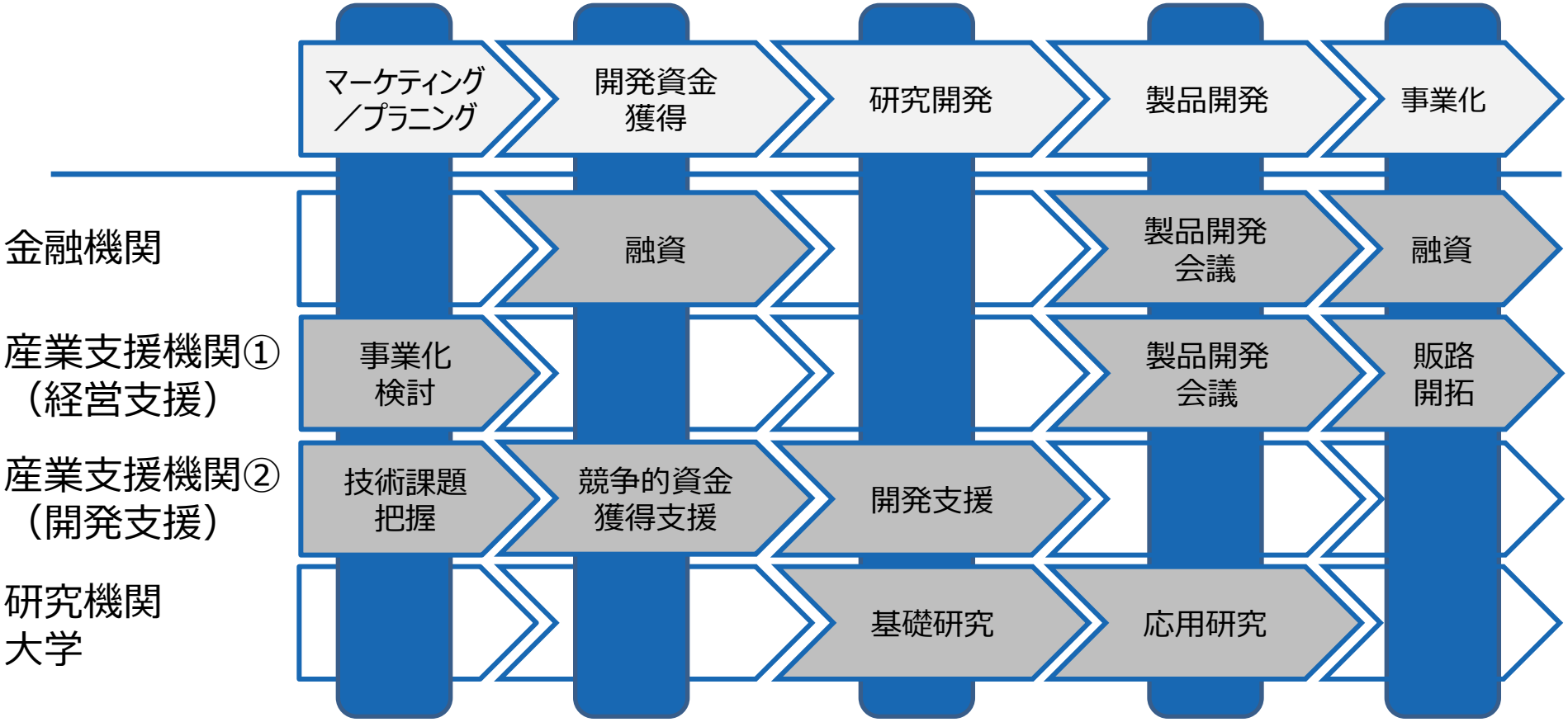

大阪大学
彩都LSP
京都大学先端医療機器
開発・臨床研究センター
京都市内地区
播磨科学公園都市地区
北大阪地区
SPring-8 SACLA
神戸医療産業都市
研究機関等集積地区
けいはんな学研都市地区
神戸医療産業都市地区
阪神港地区
大阪駅周辺地区
うめきた(グランフロント大阪)
夢洲・咲洲地区
医薬品専用共同定温庫
KIX Medica
関西国際空港地区

関西の産業振興を確かなものとするために
～イノベーション支援体制の構築～



関西の研究開発拠点、産業支援機関が連携し、企業のイノベーション創出支援体制を構築!!　(「橋渡し」機能の強化、グローバル市場戦略　等)

各機関の連携による企業支援のイメージ

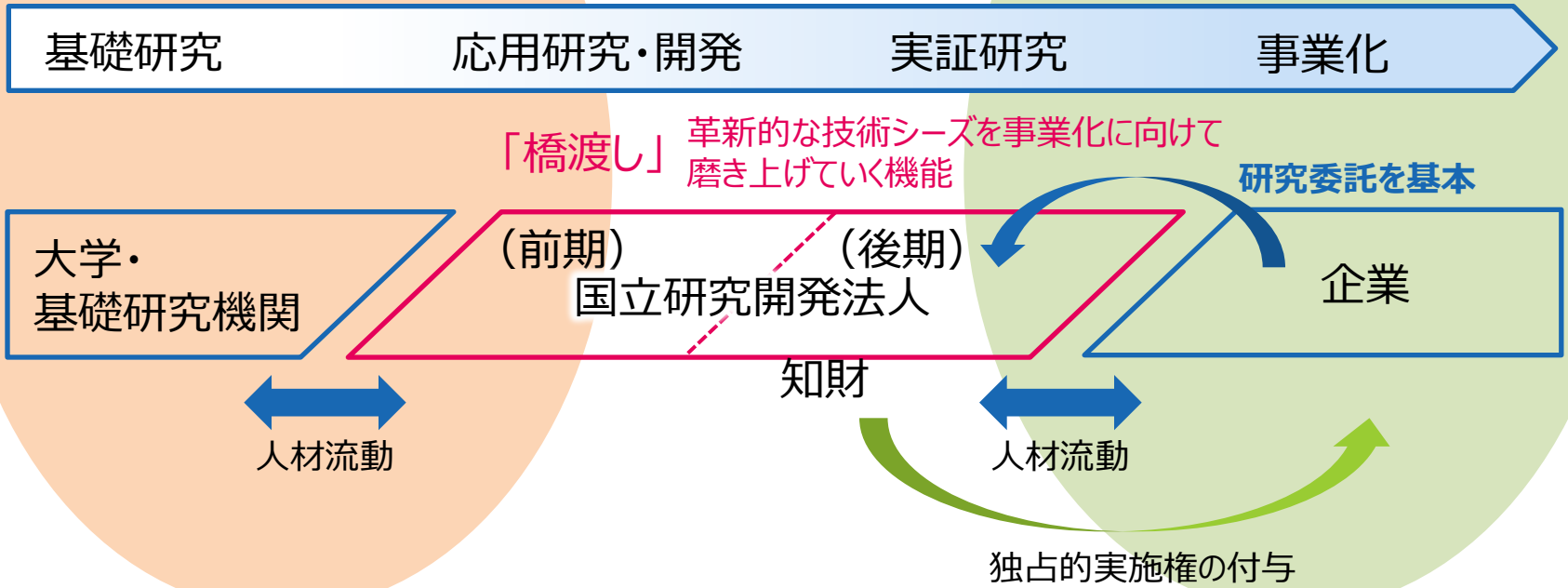


各機関が得意分野を活かした支援を実施

科学技術イノベーション総合戦略
「橋渡し機能の深化」

マーケティングの視点（入口）
- **市場のニーズ**
- **顧客へのソリューション**
- **知的財産の保護**

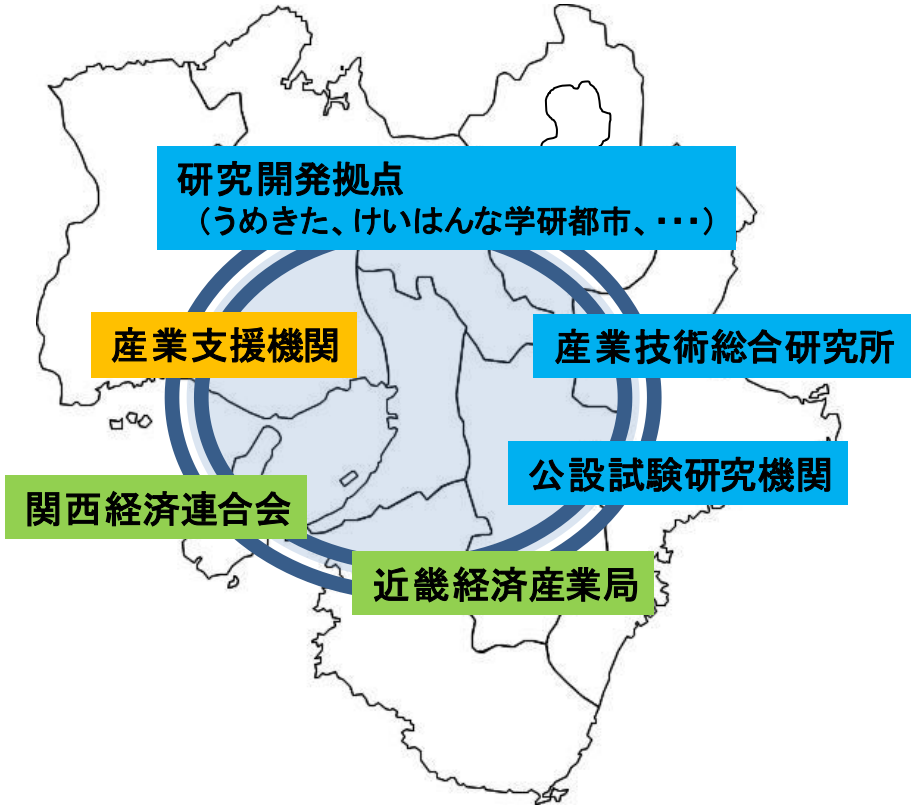
事業化の視点（出口）
- **ビジネスモデルの構築**
- **標準規格／ルール制定**
- **知的財産の保護**



研究機関と企業が初期段階からコラボレーションし、入口と出口を共有することが重要
そのためには、企業もオープン＆クローズ戦略を実行する必要がある

関経連の取組み事例紹介　ネットワーク型コラボレーション

〇産総研の橋渡し機能と連携し、「ものづくり支援ネットワーク」を構築



関西地域におけるネットワーク構築による府県域を越えた企業支援に向けて、以下の取組みを実施

・支援機関の連携強化のため、「産総研イノベーションコーディネーター制度」を活用した情報共有、人的交流の仕組みを構築

・ネットワークを活用した次世代成長産業（健康医療、航空機、エネルギー、ロボットなど）への中堅中小企業の参入支援

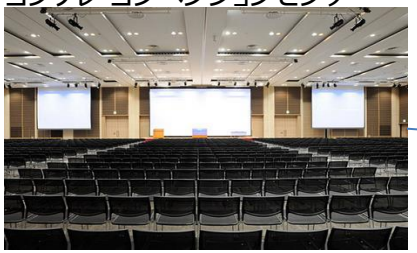
関西各府県の強みを活かした「**地方創生**」の実現

産学官連携拠点としての「うめきた」～1期の成果～

○2103年4月、グランフロント大阪がオープン
○起業家をはじめ多様な人材が集積し、ITやサービス分野などでビジネス創出に繋がっている

ナレッジシアター

コングレ コンベンションセンター

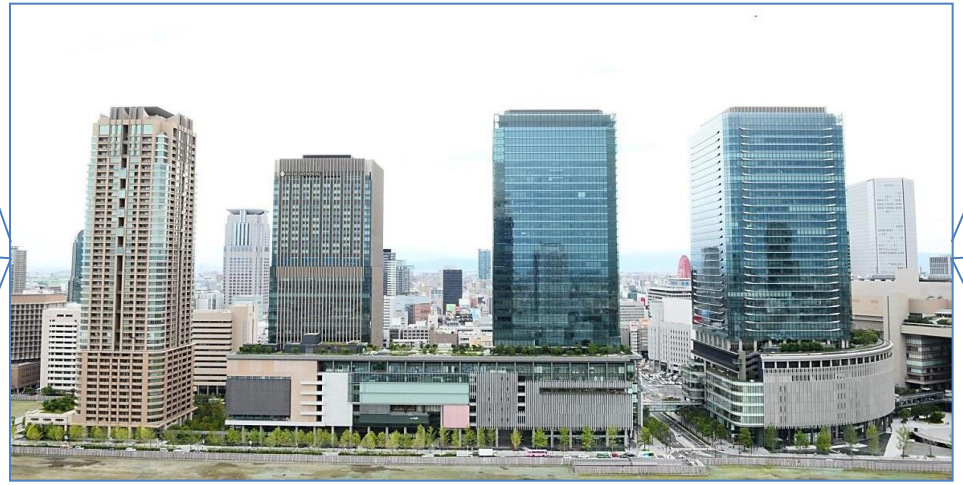


ナレッジサロン

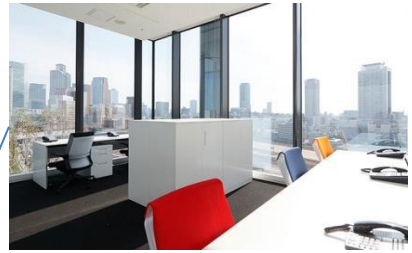
「ナレッジキャピタル」＝「知的創造・交流の場」

- **12大学、6研究機関(※)、自治体(※)をはじめ、企業も含めた参画は100者超**
- **「ナレッジサロン」会員数は2,000名超、総来場者数累計約42万人**
- **海外から35カ国142団体が視察・来訪**

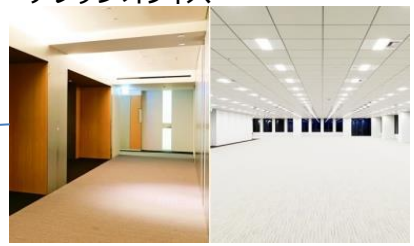
(一社)ﾅﾚｯｼﾞｷｬﾋﾟﾀﾙのﾌﾟﾚｽ(H28.3)より



コラボオフィス



ナレッジオフィス



フューチャーライフショールーム

（※）PMDA：独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
AMED：国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
APIR：一般財団法人 アジア太平洋研究所
OIH：大阪イノベーションハブ　など

うめきた1期では既に活発な交流が実現されており、これに続く2期開発では、関西が得意とする「ものづくり」「健康・医療」などの分野でさらなる交流と産業振興を目指す!!

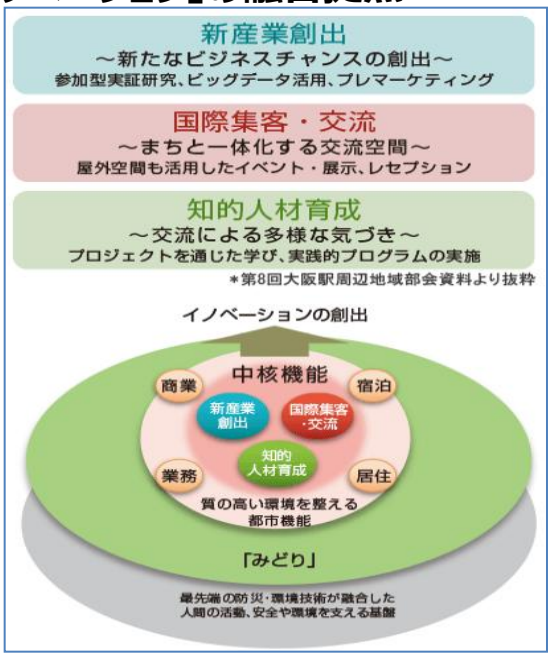
産学官連携拠点としての「うめきた」～2期開発の検討状況～

○平成27年3月策定の「まちづくり方針」にもとづき、現在開発検討中

○うめきた2期では、1期での活動を活かしながら、関西一円の研究開発拠点・大学の新技術を、多様な人材・組織に「橋渡し」する機能を実現

○そのため、技術と人が集まる「イノベーションプラットフォーム」を構築し、これを支える「総合コーディネート機関」の設置と、イノベーション創出を支援する国の機関等の誘致により、研究開発から実用化までの切れ目のない支援機会を提供

2期まちづくりの目標＝「みどり」と「イノベーション」の融合拠点



至近の動き

○イノベーション拠点のテーマを**「ライフデザイン・イノベーション」**に決定

○国及び国の支援機関と地元メンバーによる懇話会を実施（H28.11）

・文部科学省
・JST(科学技術振興機構)、
・経済産業省
・NEDO(新ｴﾈﾙｷﾞｰ・産業技術総合開発機構)
・中核機能推進会議メンバー
（学識経験者、地元自治体、経済界、UR）

が参加し、来年度以降の活動の方向性について意見交換

1期の成果も含め、うめきた全体での「新産業創出」による大阪・関西・日本の産業振興に向けて、引き続き国からのご支援・ご協力をお願いしたい!!